

# いわむら

発行所 岩室村役場  
印刷所 巻・北洋印刷KK

No. 27

### つゆどきの健康を守ろう

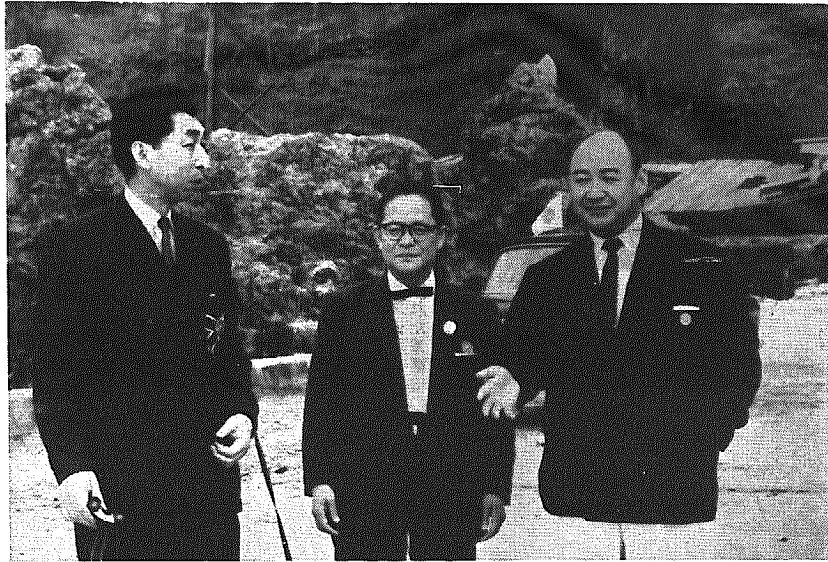
つゆになると汗の蒸発が空気中の湿度で妨げられるので、からだの調子が狂い、食欲はなくなり、胃腸の吸収力がさがって、ビタミンの欠乏状態が始まります。

つゆ時の克服には、①曇天でも戸外にでる②総合ビタミン剤を補う③晴れ間でも戸外にでる④おかずの種類を多くして食の量を減らす⑤夜具を使う⑥お母さんには注意する⑦入浴して皮膚を清潔を保つことなどが必要です。

間瀬へお立ち寄りになられた

## 高松宮様

海岸美の絶景に驚嘆



第十九回国体会場地をおまわりになられた高松宮様一行は、六月八日、弥彦村のクラレ射撃、自転車競技、巻町のホッケー競技を御覧のあと、お忙しい日程の中で特に時間をおさきになられ間瀬海岸を視察された。この間瀬海岸視察の話が折々多勢の歓迎陣を作った佐藤村長の機転の効く行動を高

鈴木県議（副議長）さんかくおほめになつておられた。宮様は漁業面に意を注がれ「港を作っても魚がとれるのか？」、「若い人がいて船に乗るのか？」等の質問に、沿岸漁業についての関心を示されておられた。佐藤村長から弥彦山を中心としたスカイラインの計画や、海と山を結ぶ大観光地への発展の構想、枕状溶岩や白岩等の海岸一帯の奇石怪石の並ぶ海岸美の説明をお聞きになられ、宮様は特別に「白岩」への興味を持たれて自動車で行けないのを非常に残念がられ、遠藤県企画部長に「この次までに車道をつけるように……」等の注文をされた。

また間瀬までの道路の悪いのが新潟県の道路の標本ではないかと聞かれ、早急に改修、整備の必要あることを県の関係者に強く要請されて宿泊地である岩室温泉へ向かわれ、議員を始め地元住民の歓迎の迎えを一身に受けながら御宿に御着きになり、翌朝、黒埼へと向かわれた。

写真は佐藤村長（右）から間瀬海岸一帯の景観の説明をお聞きになる宮様（左）中央は鈴木県副議長  
下は巻高校でのホッケー競技を御覧になる宮様（右）